

第6回

DBJ 女性新ビジネスプランコンペティション

ファイナリスト 一覧

(敬称略)

DBJ 女性起業大賞

かわ しま ふみ こ
川島 史子

東京都

在宅医療 支援サービス「クラウドクリニク」事業
クラウド技術を活用したアウトソースサービスによる在宅医療の負担軽減と潜在医療職女性の有効活用
株式会社クラウドクリニック
代表取締役



なか むら あけ み
中村 朱美

京都府

働き方を RE DESIGN.
～飲食店の常識を覆す～
18時退社・残業無し・有給休暇完全消化の飲食店
株式会社 minitts
代表取締役



DBJ 女性起業優秀賞

さか した り さ
坂下 理紗

東京都

小さなチップとスマートフォンで、誰でも手軽に使えるインフルエンザ即時診断デバイスの創成
感染症全般に技術を応用し、パンデミックを抑制する
ナノティス株式会社
代表取締役 CEO, Founder



ご や ゆ き の
呉屋 由希乃

沖縄県

「サンゴに優しい日焼け止め」で「環境意識のタネ」を植える
～サステイナブルなリゾートコスメ～
ジーエルイー合同会社
代表



DBJ 女性起業ソーシャルデザイン賞

やま うち みち こ
山内 満子

愛媛県

養殖王国愛媛から発信する、将来の子供たちへつなぐ新たな水産イノベーション!
スリーラインズ株式会社
代表取締役



くすのき か え
楠 佳英

神奈川県

おばあちゃんもお母さんも、無理なく楽しく「好き」を仕事に
～世界でたった一つのバッグを作る、編み物ブランド「ビヨンドザリーフ」～
株式会社ビヨンドザリーフ
代表取締役



DBJ 女性起業事業奨励賞

なか もと ちづ
仲本 千津

静岡県

社会的に疎外された人々を雇用し、経済的・社会的自立をサポートしながら、高品質なメイド・イン・ウガンダのバッグやトラベルグッズを世界に発信
株式会社 RICCI EVERYDAY
代表取締役



つち や きよ み
土屋 清美

東京都

いつのまにか、株主。
「口座開設不要・資金不要・年齢制限なし」で誰もが簡単に参加できる投資の仕組みを提供して、金融とマーケティングに革新を
STOCK POINT 株式会社
代表取締役



こ が あおい
古賀 碧

熊本県

球磨焼酎粕で培養可能な光合成細菌を活用したビジネス
～焼酎粕を宝に!作物の付加価値を高めるだけでなく、環境問題の解決に貢献します～
ciamo
代表



たか お かず み
高尾 一美

大阪府

産官学連携で開発した特許技術の次世代光触媒塗料「オプティマス」
～メイドインジャパンの技術で世界中の外壁も中の空気もキレイにしてみんな健やかに～
株式会社オプティマス
代表取締役



ファイナリスト紹介 (敬称略)

DBJ 女性起業大賞

株式会社クラウドクリニック

代表取締役

かわ しま ふみ こ
川島 史子

東京都



【略歴】

日本福祉大学社会福祉学部Ⅱ部卒業後、病院相談員として勤務。

2006年日本医療コンシェルジュ研究所で、医療コンシェルジュ資格認定制度・医師事務作業補助者研修の立ち上げ、運営を行う。

ダスキンヘルスケアに入社し、名古屋大学医学部附属病院共同研究員として医療コンシェルジュサービスを開発。日本医療コンシェルジュ研究所特別顧問。

2014年株式会社PLUS F創立。2015年株式会社クラウドクリニック創立。

第1回デジタルヘルスコネクティブネスプランコンテストオーディエンス賞受賞。第2回女性起業チャレンジ制度グランプリ受賞。



事業内容

在宅医療 支援サービス「クラウドクリニック」事業 クラウド技術を活用したアウトソースサービス による在宅医療の負担軽減と潜在医療職女性の 有効活用

超高齢化での医療費増大を背景に、大病院中心の医療から在宅医療への移行が求められるなか、一方で、自宅以最期を迎えたいと希望する人も増え、在宅医療の需要が拡大している。

父の死を通し在宅医療を知り、経験してきた大学病院での医師のサポートである医療コンシェルジュや医師事務作業補助業務での知識・教育ノウハウを活かし、在宅医療の課題解決のため、当社を創立。

多くの医師が在宅医療・看取りに携われるように、ひいては高い品質の在宅医療が提供でき、それが患者さんへのより良い診療につながるように、在宅医療の煩雑な事務作業を、遠隔オペレーションセンターで受託する。業務の効率化で医師の負担軽減はもちろん、出産等で離職した医療有資格者の女性が活躍でき、キャリア形成が可能となり、働き方改革までも実現したいと取り組む。

すでに支援先医療機関を通してサポートした患者数は3500人を超える。



医師をサポートすることが、患者さんへのよりよい診療につながるように。
在宅医療事務アウトソーシングサービスを提供いたします。



DBJ 女性起業優秀賞

ナノティス株式会社

代表取締役 CEO, Founder

さか した り さ
坂下 理紗

東京都



【略歴】

東京大学大学院理学系研究科修了(理学修士・物理学専攻)、東京理科大学理学部物理学学科卒業。修士課程まで量子コンピューターの理論研究に従事。

大学院修了後は野村證券株式会社(投資銀行部門アナリスト)、ブルームバーグLLP(データアナリスト)に勤務。その後独立し、技術マッチングサービスのベンチャー企業、リンカーズ株式会社へ参画。営業成績トップMVPを受賞し、執行役員営業統括本部長を務める。開業医だった祖父の影響、研究者との出会いを機に、2016年ナノティス株式会社を創業。

 Nanotiss

事業内容

小さなチップとスマートフォンで、誰でも手軽に使えるインフルエンザ即時診断デバイスの創成
感染症全般に技術を応用し、パンデミックを抑制する

ナノティス株式会社では、小さなチップとスマートフォンによる感染症即時診断デバイスの研究開発を行っている。まずはインフルエンザをターゲットに、どこでも・誰でも・迅速に診断を行うことのできる製品開発を推進。全く新しいヘルスケア・プラットフォームの創成を目指す。

研究開発は東京大学の若手研究者チームが主となり、東京大学・長棟輝行教授との共同研究、元テルモ株式会社代表取締役会長の中尾浩治氏が顧問を務めるなど、各業界第一線の専門家による支援体制を誇る。

製品化により患者・医療従事者双方への負担軽減はもとより、僻地診療や発展途上国など医療環境の悪い地域での的確な即時診断、遠隔地の医療機関との連携といった革新的な医療サービスや、リアルタイムでの疫学調査も可能となる。長期計画として技術を応用し、デング熱、ジカ熱、エボラ出血熱といった世界の多様な感染症のパンデミック抑制に貢献する事をミッションとしている。

 Nanotiss
Nanotechnology for Our Life



病魔と闘うすべての人に、
迅速・的確なNoticeを提供する

チップとスマートフォンによる、
全く新しい感染症診断デバイスの創成

※完成予想図であり、実際の仕様と異なる場合があります

 Nanotiss は一回使い切りの手軽な診断チップ



鼻かみ液(将来的には唾液を検討)

をつけて、1分後、スマートフォンのアプリで撮影すると

QRコード感覚で結果を表示!

※完成予想図であり、実際の仕様と異なる場合があります

ファイナリスト紹介 (敬称略)

DBJ 女性起業ソーシャルデザイン賞

スリーラインズ株式会社

代表取締役

やま うち みち こ
山内 満子

愛媛県



【略歴】

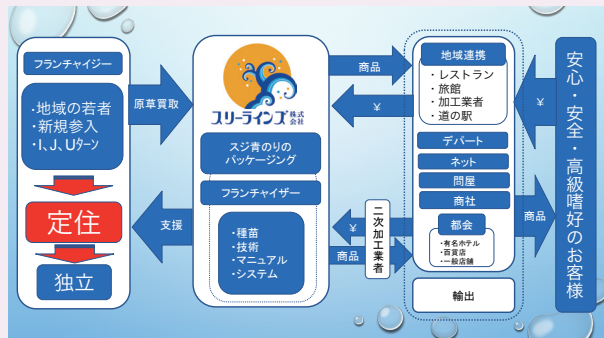
2008年、遊子漁協女性部部長に就任。2016年までの8年間、地域の生き残りをかけた地域活性化、魚食普及活動に部員と共に奔走。その活動が認められ、2012年第17回全国青年・女性漁業者交流大会、地域活性化部門において「農林水産大臣賞」、第51回農林水産祭(新嘗祭)水産部門において「内閣総理大臣賞」、2014年国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン「ルビー賞」他、多数受賞。更なる魚食と養殖漁業のPRのため、2016年9月にスリーラインズ株式会社を立ち上げ、新たな水産イノベーションに取り組むための活動を開始。



事業内容

養殖王国愛媛から発信する、将来の子供たちへつなぐ新たな水産イノベーション!

「養殖王国愛媛」なかでも真鯛養殖日本一を誇る宇和島市だが、地域産業の衰退から故郷を離れる若者の増加で、高齢化率は高くなり、消滅可能性都市の一つに挙げられている。特に高校卒業後の人口流出に歯止めがかからず、むしろ加速していることに危機を覚え、課題解決のためにスリーラインズを立ち上げる。スリーラインズは、魅力ある仕事、安定して働ける仕事として、井戸海水を利用した「スジ青のり」の陸上で栽培技術を確認させ、増産体制を構築し、「地方創生」を目指している。井戸海水利用による陸上栽培技術は、近年注目されてきている技術である。今後、スジ青のりを商品化し、地域観光資源として新しい産業創出を実現することで、地域の担い手の教育・雇用創出につなげ、この技術をパッケージングすることによって若者の定住、独立につながる事業展開をしていく。その技術を応用して、日本各地の漁村へ過疎対策事例として愛媛から発信する。



DBJ 女性起業事業奨励賞

株式会社 RICCI EVERYDAY

代表取締役

なかもと ちづ
仲本 千津

静岡県



【略歴】

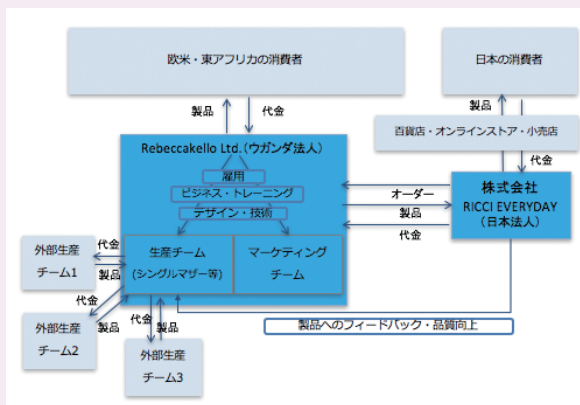
1984年静岡県生まれ。大学院卒業後、邦銀で法人営業を経験。その後国際農業NGOに参画し、ウガンダの首都カンパラに駐在。その時に出会った女性たちと日本に暮らす母と共に、カラフルでプレイフルなアフリカ布を使用したバッグやトラベルグッズを企画・製造・販売する「RICCI EVERYDAY」を立ち上げる。2015年に日本法人、2016年に現地法人及び直営店舗をカンパラ市にオープン。同年11月に第一回日本アフリカ起業支援イニシアチブ最優秀賞、2017年9月に第五回グローバル大賞国際アントレプレナー賞最優秀賞受賞。



事業内容

社会的に疎外された人々を雇用し、経済的・社会的自立をサポートしながら、高品質なメイド・イン・ウガンダのバッグやトラベルグッズを世界に発信

カラフルでプレイフルなアフリカ布を使用したバッグやトラベルグッズを企画・製造・販売するブランド「RICCI EVERYDAY」を、日本に暮らす母と現地の女性たちと共に運営。社会的に疎外された人々（都市部に暮らすシングルマザーや紛争中に子供兵だった人々など）の生き辛さを目の当たりにし、教育を受けていなくても、良い家柄ではなくても、才能とやる気さえあれば雇用され、安心して誇りを持って働くことのできる環境を生み出そうと決意。ウガンダに直営工房を設置し、高品質なハンドメイド製品を製造している。現在、製品を日本に輸出し、大手百貨店やセレクトショップ、自社オンラインストアを通じて販売しているが、今後は日本だけでなく世界に販路を拡大する予定。会社として経済的、社会的利益の両方を追求しながら、サステイナブル経営を実践中。



ファイナリスト紹介 (敬称略)

ciamo

代表

こが あおい
古賀 碧

熊本県



【略歴】

崇城大学生物生命学部応用生命科学科大学院 在学中。学部2年次に、国内外の人にもっと地方の魅力を発信したいと感じ、地場資源を商品化する事業を開始。翌年、球磨焼酎と熊本県産の果物を使ったリキュール「ごくりくま」を全国に販売。その活動を通じて焼酎蔵の課題を知り、自分の専門性が役に立つと考え、本事業を立ち上げる。現在、メディア出演、講演会を通し、微生物資材の認知度向上をはかり、社会全体が“環境問題”を理解する土台構築に取り組んでいる。NEDO TCP2016「優秀賞」、第13回 キャンパスベンチャーグランプリ全国大会「文部科学大臣賞」等を受賞。



事業内容

球磨焼酎粕で培養可能な光合成細菌を活用したビジネス

～焼酎粕を宝に!作物の付加価値を高めるだけでなく、環境問題の解決に貢献します～

農水畜産業や医薬品、環境・エネルギーなど様々な分野で利用される光合成細菌は、田んぼや沼など私たちの身近に存在しているが、高価であることが課題であった。本事業は球磨焼酎粕を使い、この課題を解決するものである。現状、焼酎粕は、8,000円/1tのコストをかけ蔵元が処理しているが、本事業で、焼酎粕で培養可能な光合成細菌を、大量に培養するためのキットの研究開発・販売を行い、焼酎粕の付加価値を高め、“宝”に変えることで、蔵元の負担を減らし地方創生を目指していく。光合成細菌を使用することは、作物の付加価値を高めるだけでなく、水質問題の原因となる化学肥料や農薬の使用を軽減させ、環境問題の解決にも貢献する。まずは熊本から九州、そして全国へと光合成細菌の普及に努めていく。



株式会社 minitts

代表取締役

なか むら あけ み
中村 朱美

京都府



【略歴】

京都教育大卒。専門学校職員として勤務後、2012年9月に株式会社minittsを設立。1日100食限定のお店「佰食屋」を開業、京都市内で3店舗を運営。ワークライフバランスやダイバーシティを取り入れた飲食店経営手法が注目され、平成27年度京都市「真のワークライフバランス」推進企業の特別賞、第4回京都女性起業家賞の最優秀賞、第3回LED関西ファイナリスト、第4回京信・地域の起業家大賞最優秀賞などを受賞。3歳長女と脳性麻痺を抱えた1歳長男の2児の母で、現在も1日3回長男のリハビリを続けている。



事業内容

働き方を RE DESIGN. ～飲食店の常識を覆す～ 18時退社・残業無し・有給休暇完全消化の 飲食店

1日100食限定の飲食店「佰食屋(ひゃくしょくや)」。メニューを3品に絞ることで、高級店にも負けないクオリティの商品を1000円前後の定食として提供が可能に。口コミやメディアで話題となり、全店舗が行列の出来る人気店となる。

営業時間をランチに絞ることで人件費と光熱水費を削減、行列解消やキャンセル防止のため整理券を配布、口コミの増加から宣伝広告費を削減するなどの工夫により、毎日100食限定としても安定した利益を確保。毎日売り切れることで食材のロスや廃棄も無いため冷凍庫不要。更に夜の営業が無いため、従業員の勤務時間は9時～17時45分の残業無し！ワークライフバランスの取れた職場環境を実現したことで、有名なレストランから転職する人が相次ぐ。更にシングルマザーや障害者、介護中の人も勤務している。

今後、更なる雇用を生み出すための店舗展開や、他の飲食店への働き方改革の推進を目指している。

ランチ営業のみ！

飲食店は夜に稼ぐという常識を覆します

国産牛ステーキ井専門店 佰食屋	佰食屋 すき焼き専科	佰食屋 肉寿司専科
京都・西院	京都・河原町	京都・錦市場

帰宅が早すぎて、転職した当初は「本当に会社に行っているの？」と妻に言われました(笑)
(40代男性)

子どもの送迎を親に頼まず自分でできるようになりました(30代女性)
初めて子どもと一緒に風呂に入れるようになりました(40代男性)

ファイナリスト紹介 (敬称略)

ジーエルイー合同会社

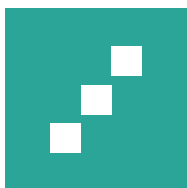
代表

ご や ゆ き の
呉屋 由希乃 沖縄県



【略歴】

大学休学中に東京で起業したイベント業が軌道に乗り大学を中退。その後、結婚を機にNYへ移住し、個人バイヤーとしてWEB販売をしていたが、そのノウハウを活かすため、地元沖縄に戻りアパレルショップを開業。ある時海で、使用していた日焼け止めを「サンゴが死んじゃうよ」と注意されたことを契機に、観光と環境の問題に取り組むべく、8年間経営した店舗を売却し、クラウドファンディングで集めた資金で2017年「サンゴに優しい日焼け止め」の販売を開始。サンゴの美しい慶良間諸島やその他沖縄離島を中心に啓蒙販売をしている。



事業内容

「サンゴに優しい日焼け止め」で「環境意識のタネ」を植える
～サステイナブルなリゾートコスメ～

「国連持続可能な開発サミット2015」で掲げられた持続可能な社会を目指し、その一員としての役割を担うため、「サンゴに優しい日焼け止め」を開発。この日焼け止めは環境に真剣に取り組む商品として沖縄やその他自然公園リゾート地域を中心に、サンゴ等海洋資源の大事さを啓蒙し販売する環境問題提案型の商品である。

一般的な日焼け止めには、サンゴ等海洋生物に影響があるとされる成分が含まれているが、「サンゴに優しい日焼け止め」は自然由来成分で作っている。この商品を選択することで海洋環境に配慮しているという意識づけができ、その他の環境問題にも意識を向けさせることが可能となる。一人でも多くの人にこの「タネ」を植え付けるため、今後も環境負荷の低い商品でラインナップを拡大し、世界市場も視野に販売準備を進めている。



*世界のサンゴの50%が消滅してしまっている世界的危機状況や、CO2削減にアマゾンと同等に役立っていること、海の生態系の基盤となっていることなど、個人レベルへの教育が大変重要である。

株式会社ビヨンドザリーフ

代表取締役

くすのき か え
楠 佳英

神奈川県



【略歴】

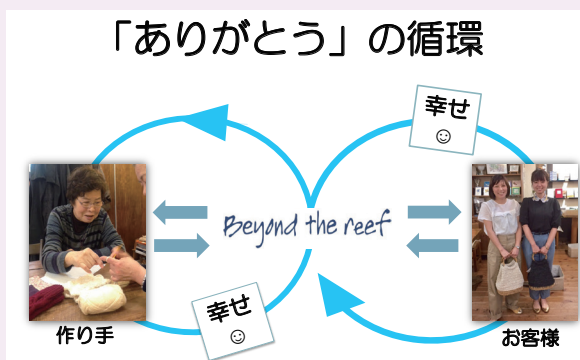
1975年生まれ、東京都出身。学習院大学卒業。ファッション誌のフリーランス編集者&ライターを続けながら、「一人暮らしの姑に元気になってもらいたい」との想いから、2014年7月に編み物バッグブランド「Beyond the reef」を立ち上げる。その後、編み物サークルのおばあちゃん達と一緒に製作を開始し、2015年12月に株式会社ビヨンドザリーフを設立、代表取締役兼デザイナーに就任。自社サイトや全国百貨店にて店舗展開中。2016年かわさき起業家オーディション最優秀賞、2017年横浜ビジネスグランプリ女性起業家大賞受賞。

Beyond the reef

事業内容

おばあちゃんもお母さんも、無理なく楽しく「好き」を仕事に
～世界でたった一つのバッグを作る、編み物ブランド「ビヨンドザリーフ」～

ビヨンドザリーフは、高齢者や主婦が無理なく楽しくもう一度社会に参加する事を目的として、2015年12月に法人化した編み物のファッションブランドである。1日中編み物をして過ごす一人暮らしの姑に、もう一度生きる希望を感じて欲しい。そして、きっと沢山いるであろう同じ状況の高齢者にも、小さな喜びを提供出来たらいいな…そんな想いからビヨンドザリーフを始める。具体的には高齢者や主婦の編み縫い技術に磨きをかけ、若い女性に受けるおしゃれなデザインに落とし込み、すべて手作りで高品質という高い付加価値を付け、自社サイトや全国百貨店等で販売している。今後は実店舗と越境ECに取組み販路を拡大、再就労が難しいと言われる高齢者や主婦に安定的な収入を与えられる仕組み作りを進める。超高齢化社会を迎える日本において、高齢者がもっと簡単に好きな仕事に携わり、自分のチカラで楽しく稼げる事が当たり前の社会を目指す。



STOCK POINT 株式会社

代表取締役

つち や きよ み
土屋 清美

東京都



【略歴】

東京工業大学理学部応用物理学科卒業。電通国際情報サービスで「金融業務」×「IT」をSEとして経験した後、2000年にゴールドマンサックスのメンバーが起業したクォンツリサーチ株式会社に、企画営業担当として参画。2006年に独立し、株式会社Sound-Fを創業。金融機関向けの、新しい金融サービスのコンサルティングとシステム提供の事業を開始。近年注目されているFinTech分野にも進出する中、本事業をプロジェクト化し、2016年9月に「STOCK POINT株式会社」を設立。



事業内容

いつのまにか、株主。
「口座開設不要・資金不要・年齢制限なし」
で誰もが簡単に参加できる投資の仕組みを
提供して、金融とマーケティングに革新を

STOCK POINT (SP) は、企業の株価に連動して価値が上下するポイント。提供サービスは①運用型と②ロイヤリティ型のふたつ。①運用型サービスでは、持っているけど使い道のないポイントを自分が気になる企業のSPに変えて、その日からその企業の株式を持っているような運用体験を可能とし、②ロイヤリティ型サービスでは、企業の商品を買ったりサービスを使ったりすることで、その企業のSPを取得し、貯まったSPのポイント数が、1株相当以上のポイント数になると、その企業の現物株式との交換を可能とする。これが、「いつのまにか、株主」。

今後、貯蓄から投資への流れが特に若年層には重要となる中、ポイントで運用という形でハードルを低くし、多くの人に投資体験の機会を提供し、将来的には個人株主にもなれる、という日本初の仕組み。STOCK POINTは、これまで投資に踏み出せなかった人に対する画期的なサービスとなる。



株式会社オプティマス

代表取締役

たか お かず み
高尾 一美

大阪府



【略歴】

中学卒業後渡米し、Old Dominion University 卒業。株式会社コムテックで、ITコンサルタントとして外資企業の営業を担当。その後、2002年に父親の手伝いでタイ国で中古機械の販売会社を立ち上げる。翌年、同国において、堺の実家、宝栄産業株式会社が製造する遮熱塗料の販売施工会社を設立。2011年、大阪府立大学と光触媒塗料（のちの『オプティマス』）を開発するため帰国し、翌年に株式会社オプティマスを設立。国内外に向け、オプティマスペイントを展開中。2017年に経済産業省 近畿経済産業局LED関西のファイナリストに選ばれる。



事業内容

産官学連携で開発した特許技術の
次世代光触媒塗料『オプティマス』
～メイドインジャパンの技術で世界中の外壁
も中の空気もキレイにしてみんな健やかに～

内外装ともに高い技術力と開発力で、他社に無いオンリーワンのエコとウエルネスに特化した光触媒塗料『オプティマス』シリーズの販売。『スーパーキャプセル法』で光触媒の効果を最大限に発揮した今までにない次世代塗料!

【外装用】は、超親水性によりセルフクリーニングの効果で汚れず、白がいつまでも続き遮熱効果を持つ。【内装用】は、ハイブリット型光触媒が配合され、暗闇でも室内のアンモニア、ホルムアルデヒドなどの有害物質を吸着分解し、空気をキレイにする。【メディカル用】は内装用塗料で、介護・福祉施設用、病院用に銀イオンを配合し更に抗菌力を高めている。空間の気になるニオイは全てオプティマスが解決する。

安全・高品質・新技術搭載の塗料を新しいスタイルで提供し続けるライフスタイルカンパニーを目指す。海外展開中。

